

■ 機能拡張

1. 明細ごとに相手先を設定できるようにしました
相手先が伝票単位にしか設定できませんでしたが、明細単位で設定できるようにしました。

The screenshot shows the '経費登録' (Expense Registration) tab. The '事業者名称' (Business Name) field is highlighted with a red box. Other fields include '再利用' (Reuse), '発生日' (Occurrence Date), '内容' (Content), '金額' (Amount), '内訳区分' (Detail Category), '用途/目的' (Use/Purpose), '税率' (Tax Rate), '領収書' (Receipt), '事業者登録番号' (Business Registration Number), and '仕入控除' (Input Tax Credit).

「事業者名称」は「事業者登録番号」に対応しています。

MOT 文書管理システムと連動している場合、MOT 文書管理システムの「取引先」として登録されません。

「事業者登録番号」を入力すると国税庁に登録されている名称が「事業者名称」に表示されます。領収書や請求書に印字されている取引先がその事業者名称とは一致しないこともあるため、領収書や請求書に印字されている取引先名に修正して登録することもできます。

2. 内訳を選択すると税率の選択肢が変わります
選択した内訳によって、税率の選択肢が変わるようになります(下記の内訳設定参照)。

The screenshot shows the '経費登録' (Expense Registration) tab. The '税率' (Tax Rate) field is highlighted with a red box. Other fields include '内訳区分' (Detail Category), '用途/目的' (Use/Purpose), '事業者名称' (Business Name), and '内訳' (Detail).

内訳設定の「課税/非課税」を「課税」に設定して「税率」で「8%」と設定した内訳を、経費申請の明細追加時に選択すると、税率選択の初期値が「8%」になります。「10%」に変更することもでき

ます。

内訳設定の「課税/非課税」を「非課税」に設定した内訳を、経費申請の明細追加時に選択すると、税率選択肢は「非課税」のみになります。

従来は税率の選択肢に税率と非課税が同居しており、誤った方を選択している場合、明細の登録時にエラーになっておりました。

3. 支払依頼申請画面と支払依頼画面の「支払先」と「相手先」に入力ガイドを表示しました

「支払先」と「相手先」の用途が分かりにくかったため、入力ヒントをそれぞれの入力欄に表示しました。

支払先 <small>必須</small>	実際の支払先を記入してください	設定
口座情報 <small>必須</small>		支払先設定
支払予定日		
精算方法 <small>必須</small>	-----	
相手先	実際の取引先を記入してください	

4. 内訳設定を修正しました

課税/非課税	<input checked="" type="radio"/> 課税	<input type="radio"/> 非課税
税率	-----	
税区分	-----	
インボイスチェック	<input checked="" type="radio"/> あり	<input type="radio"/> なし
取引先名	-----	
備考	備考	
内訳設定	<input checked="" type="radio"/> 有効	<input type="radio"/> 無効

- 「課税/非課税」で課税を選択した場合、経費申請の明細追加時の税率の初期値を設定できません。
- 「公共交通機関」を「インボイスチェック」に変更しました
従来の項目の「公共交通費」では、公共交通費以外にも使えることが分かりにくいため、項目の名称を変更しました。

- 「有効」 / 「無効」に「内訳設定」のキャプションを追加しました

■ 不具合修正

1. 内訳区分画面の順番変更ボタンを正しく動作するように修正しました。
これにともない内訳区分の表示順が変わっています。本来正しい表示順になっていなかったため、順番変更ボタンが正しく動作しないように見えておりました。

以上